

宮城県白石工業高等学校 [全日制課程 (機械科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県白石工業高等学校は、「誠実」を校訓とし、3年間の継続的なキャリア教育を通して、地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し、各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら、資格取得にも挑戦し、地域産業を担うものづくり人材を育成します。また、教育課程内外の多くの活動の場において、積極的に地域社会に参画し、地域に根ざし、地域に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 主体的に学び続け、社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。
- 課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。
〈人間力〉誠実, 正しい判断, 責任感, 創造性, 自他理解の姿勢
〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性, 知識と技術の確かな連動による実行力
〈探究力〉観察力, 情報収集力と科学的分析力, 課題を解決し改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。
→専門教科の座学では専門知識を身に付け、実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。
- 教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。
→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導、インターンシップ、課題研究における教科等横断的な取り組みから、自ら課題を発見し、その解決策を模索します。
- 習熟度別授業やT T指導、選択科目を設定し、生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを支援します。
→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やT T指導体制によるきめ細やかな指導を実施し、大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 工業やものづくりに興味があり、機械を用いた作品製作や機械の設計デザインに関心をもっている生徒
- 機械に関する専門知識及び技術・技能を習得し、機械関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒
- あいさつや身だしなみといった、社会人に求められる生活習慣を確立し、3年間の学習活動や、志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒
- 部活動 (運動部・文化部)、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械科	募集定員	80人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	電気科、工業化学科、建築科、設備工業科	
	共通選抜		
	募集人数	48人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	32人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する32人の150%の範囲に含まれる者（48人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 135点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする	合計 435点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 4段階評価（A～D） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)その他 4 観点：(1)態度 (2)表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石工業高等学校 [全日制課程 (電気科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県白石工業高等学校は、「誠実」を校訓とし、3年間の継続的なキャリア教育を通して、地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し、各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら、資格取得にも挑戦し、地域産業を担うものづくり人材を育成します。また、教育課程内外の多くの活動の場において、積極的に地域社会に参画し、地域に根ざし、地域に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 主体的に学び続け、社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。
- 課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。
〈人間力〉誠実, 正しい判断, 責任感, 創造性, 自他理解の姿勢
〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性, 知識と技術の確かな連動による実行力
〈探究力〉観察力, 情報収集力と科学的分析力, 課題を解決し改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。
→専門教科の座学では専門知識を身に付け、実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。
- 教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。
→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導、インターンシップ、課題研究における教科等横断的な取り組みから、自ら課題を発見し、その解決策を模索します。
- 習熟度別授業やT T指導、選択科目を設定し、生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを支援します。
→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やT T指導体制によるきめ細やかな指導を実施し、大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 工業やものづくりに興味があり、電気・電子・情報に関心をもっている生徒
- 電気に関する専門知識及び技術・技能を習得し、電気関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒
- あいさつや身だしなみといった、社会人に求められる生活習慣を確立し、3年間の学習活動や、志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒
- 部活動 (運動部・文化部)、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、工業化学科、建築科、設備工業科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 135点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする	合計 435点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 4段階評価（A～D） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)その他 4 観点：(1)態度 (2)表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石工業高等学校 [全日制課程 (工業化学科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県白石工業高等学校は、「誠実」を校訓とし、3年間の継続的なキャリア教育を通して、地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し、各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら、資格取得にも挑戦し、地域産業を担うものづくり人材を育成します。また、教育課程内外の多くの活動の場において、積極的に地域社会に参画し、地域に根ざし、地域に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 主体的に学び続け、社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。
- 課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。
〈人間力〉誠実, 正しい判断, 責任感, 創造性, 自他理解の姿勢
〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性, 知識と技術の確かな連動による実行力
〈探究力〉観察力, 情報収集力と科学的分析力, 課題を解決し改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。
→専門教科の座学では専門知識を身に付け、実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。
- 教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。
→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導、インターンシップ、課題研究における教科等横断的な取り組みから、自ら課題を発見し、その解決策を模索します。
- 習熟度別授業やT T指導、選択科目を設定し、生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを支援します。
→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やT T指導体制によるきめ細やかな指導を実施し、大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 工業やものづくりに興味があり、地球環境や化学の実験に関心をもっている生徒
- 化学に関する専門知識及び技術・技能を習得し、化学関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒
- あいさつや身だしなみといった、社会人に求められる生活習慣を確立し、3年間の学習活動や、志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒
- 部活動 (運動部・文化部)、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	工業化学科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、建築科、設備工業科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 135点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする	合計 435点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 4段階評価（A～D） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)その他 4 観点：(1)態度 (2)表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石工業高等学校 [全日制課程 (建築科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県白石工業高等学校は、「誠実」を校訓とし、3年間の継続的なキャリア教育を通して、地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し、各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら、資格取得にも挑戦し、地域産業を担うものづくり人材を育成します。また、教育課程内外の多くの活動の場において、積極的に地域社会に参画し、地域に根ざし、地域に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 主体的に学び続け、社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。
- 課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。
〈人間力〉誠実, 正しい判断, 責任感, 創造性, 自他理解の姿勢
〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性, 知識と技術の確かな連動による実行力
〈探究力〉観察力, 情報収集力と科学的分析力, 課題を解決し改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。
→専門教科の座学では専門知識を身に付け、実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。
- 教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。
→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導、インターンシップ、課題研究における教科等横断的な取り組みから、自ら課題を発見し、その解決策を模索します。
- 習熟度別授業やT T指導、選択科目を設定し、生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを支援します。
→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やT T指導体制によるきめ細やかな指導を実施し、大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 工業やものづくりに興味があり、木工・建築模型等の作品製作や設計デザイン等に関心をもっている生徒
- 建築に関する専門知識及び技術・技能を習得し、建築関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒
- あいさつや身だしなみといった、社会人に求められる生活習慣を確立し、3年間の学習活動や、志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒
- 部活動 (運動部・文化部)、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	建築科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、工業化学科、設備工業科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 135点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする	合計 435点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 4段階評価（A～D） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)その他 4 観点：(1)態度 (2)表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

宮城県白石工業高等学校 [全日制課程 (設備工業科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県白石工業高等学校は、「誠実」を校訓とし、3年間の継続的なキャリア教育を通して、地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導の場を提供し、各学科に関する専門知識及び技術の習得を支援しながら、資格取得にも挑戦し、地域産業を担うものづくり人材を育成します。また、教育課程内外の多くの活動の場において、積極的に地域社会に参画し、地域に根ざし、地域に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 主体的に学び続け、社会の有為な形成者として積極的に社会参画する人間力を育成します。
- 地域社会の発展及び創造のために産業界で役立つ技術力・実践力を育成します。
- 課題を見つけ出す力と課題の解決に必要な思考力・探究力を育成します。
〈人間力〉誠実, 正しい判断, 責任感, 創造性, 自他理解の姿勢
〈技術力・実践力〉社会に貢献できる専門性, 知識と技術の確かな連動による実行力
〈探究力〉観察力, 情報収集力と科学的分析力, 課題を解決し改善する力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- ものづくり人材を育成するため専門教科を重視します。
→専門教科の座学では専門知識を身に付け、実習などの実技科目では社会で役立つ技術力を習得します。
- 教科等横断的な学びやキャリア教育を通じて課題解決に必要な思考力・探究力を養います。
→地域の産業界や高度熟練技能者からの技術指導、インターンシップ、課題研究における教科等横断的な取り組みから、自ら課題を発見し、その解決策を模索します。
- 習熟度別授業やT T指導、選択科目を設定し、生徒の希望する多様な進路を実現するために、個に応じた学びを支援します。
→生徒の理解度に合わせた習熟度別学習やT T指導体制によるきめ細やかな指導を実施し、大学進学希望者に向けては選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 工業やものづくりに興味があり、空気調和設備 (冷暖房・換気)、衛生設備 (給排水)、防災設備 (消火)、電気設備等の建築設備に関心をもっている生徒
- 設備に関する専門知識及び技術・技能を習得し、設備関連分野への就職や工業系分野への進学を目指している生徒
- あいさつや身だしなみといった、社会人に求められる生活習慣を確立し、3年間の学習活動や、志望学科の専門性を活かした資格の取得に積極的に取り組む意欲がある生徒
- 部活動 (運動部・文化部)、学校行事、ボランティア活動等に積極的に取り組んだ実績があり、入学後も前向きに取り組む意欲をもつ生徒

学校名	宮城県白石工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	設備工業科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、工業化学科、建築科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 390点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を2.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 890点
		2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 135点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を1.0倍にする	合計 435点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 4段階評価（A～D） 1 形態：個人面接 2 時間：10分程度 3 内容：(1)志望動機 (2)中学校での活動状況 (3)その他 4 観点：(1)態度 (2)表現力等	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	